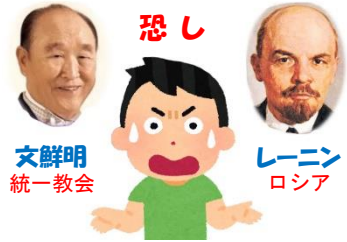


■ 「タカテツのひとり語り」

— 「宗教」と「イデオロギー」、なぜ人は惑う —

安倍元首相の射殺事件以来、旧「統一教会」(私達の学生時代は「勝共連合」と政治家の関係が連日問題となっています。一方では、ロシアのウクライナ侵略も止む様子もありません。今のロシアは帝政ロシアをレーニン等が倒し、ソビエト連邦となったのですが、これはマルクス・レーニン主義というイデオロギーを標榜していました。これを「共産主義」といい、片や朝鮮戦争後「共産主義に勝つ」という「勝共連合」が韓国にできました。私的にはどちらも「胡散臭い」。マルクスの考えた共産主義はレーニンや毛沢東、金日成が言っていることとはまるで違います。都合良く使い回したと

信じる者は、**ダマされる**



言っているでしょう。「勝共」も朝鮮戦争で南北の戦いの後、共産主義に対抗するということとキリスト教(?)、その実は「反日」といういかがわしい裏があると学生時代(この頃も学生を勧誘していました)から思っていました。単純に言うと、私は宗教もイデオロギーも大嫌いということですが(笑)。

当のマルクスは「宗教は麻薬である」と言っていますが、一方では「マルクス教」になっているように思えるのですが如何? 古来、権力と宗教は密接な関係にあります。ローマ法王として例外でなく「ボルジア家」を調べてみて下さい。ヨーロッパの国内の権力争い、暗殺、女と「性職者」かというほどひどいのです。

日本として例外ではなく、比叡山や高野山は僧兵を有し、強訴といって政治に口を出し、自らが権力者と化します。織田信長は、日本を宗教から解放したと言えるかも知れません。そもそもは貧困や世の中の理不尽さから逃れるための宗教やイデオロギーであり、それ故絶えることが無いとも言えます。これは盲信・狂信を生み、科学と相反することも多く、殊に極めて保守的です。なにせ「教義」というものは、科学依然に創られたからです。アメリカですら未だに進化論を認めない人達がいます。

つまりは、この現世の理不尽さがこれらを支え、この人達の金と礼を求めて「政治屋」(フダゴジキ?)も惑うのでしょうか。古来「家元、胴元、教祖様」は儲かるようで…「せめてなりたや教祖様」っテカ(笑)。

■ ROKENワークス・アカデミーだより

— 「哲塾」フィナーレ、海老原独演会&懇親会 —



若手経営者のトップセミナー「哲塾」が全10回を終了し、そのフィナーレとして海老原嗣生氏(厚労省雇用審議会委員、中央大学客員教授、元クルトワークス編集長)を招き、米沢商工会議所議員懇談会共催で開催致しました。

今回は、これからの労働市場についての動向とその方策についての話でした。結論的には、労働力としては女性も高齢者も限界に達しているという状況であり、労働力のためのM&Aや外国人労働力活用も必須の状況下にある旨、数字的な論拠のもとに話しを頂きました。

今後、山形県の企業数は50%減少するという予想もあり、M&Aは地方といえども現実味を帯びるものといえます。一方外国人労働力については、外国人のネットワークによる労働移動(夜逃げ)が発生し、高い賃金の都市部に流入していく等の受講者の声等も寄せられました。

セミナー後は、小野川温泉に移動し「夜の研修会」を催し、塾生との意見交換や「哲塾」の感想等で大いに盛り上がりました。全10回の「哲塾」では全ての塾生がこれまでに無い程大変な研修であり、前日から酒を呑まない等の準備をしないことには1日6時間は持たない、意地で出席を目指した等本音が続出(笑)。

しかしながら塾生同士の「つながり」ができた等、達成感のある研修であったこと、2度はムリ等、言いたい放題、海老原氏もベロンベロンの「夜の研修会」でした(笑)…実は私もかなりキツかった(涙目)。

次は各社のセカンド塾でもやるかな…トップだけでは組織は動かないしナァ(ニター)。

■ ROKEN提供システムズ

— 戦略的アウトソーシング&ヒューマンエンジニアリング —

■ ROKEN アウトソース・センター

- ・ 電子申請システム(義務化近し)
- ・ 給与計算(明細書電子配信)
- ・ 出退勤指紋(カード)認証システム

■ ROKEN ヒューマン・フォース

- ・ 適性検査、コンピテンシー面接・評価

■ ROKENワークス・アカデミー

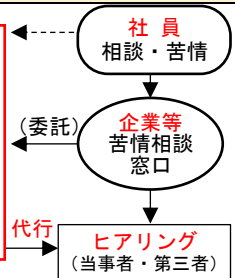
- ・ 人間基礎力、ヒューマンスキル、テクニカルスキル



■ ROKEN ハラスメント
セキュリテーズ

①相談・指導 ②研修

弁護士・社会保険労務士
産業カウンセラー



■ 協同組合 労研センター

TEL: 23-7233 FAX: 23-7236
E-Mail: center@roken.jp

お気軽にお問い合わせ下さい。

■ 株式会社 労研

TEL: 24-8060 FAX: 24-8069
E-Mail: academy@roken.jp

roken 検索